心遣いに感謝いたします　Vol.7

巷では、新聞、ニュース等で連日、秋の行楽地の様子が報じられています。先週末の休日の様子を、TV ニュースで見ていると、近畿地方は、いよいよ紅葉シーズンの真っ只中に入ったようです。今から 1，2 週間が、今季最高の見頃となりそうですね。

さて、同じく、先週には、新政府から、新たな新型コロナウイルス感染症に対する行動指標等が示されました。しかしながら、未だ、先が読めず、また見通しが立たず、依然、気を緩めることができないと思っています。したがって、学校では、今まで通り感染対策を徹底し、教育活動を続けていく所存です。よろしくお願いいたします。

さて、今週末の 19 日には、6 年生のクラス発表会が予定されており、連日、音楽室や体育館から合奏の練習音が聞こえてきます。感染対策をしっかり行う中で、6 年生には、大舞台を踏んでもらい、達成感を味わって、小学校生活の最後の年の思い出づくりをして欲しいです。実りある「芸術の秋」になることを期待しています。

校長室に生けられた、濃いピンクの花は、菊の花です。まだまだ秋の代表花は健在です。また、赤い実をつけているのは、ヤブサンザシです。前回、同じように赤い実のあるイノバラを紹介しましたが、このヤブサンザシにも赤い実がついています。イノバラと同じく、晩秋によく似合います。

→

花（拡大）

←

児童下足室前の廊下の隅に生けられた、下部は、校長室と同じく、濃いピンク色の菊です。そして、上部にある白い花は、おそらくハナシュクシャです。

（図鑑で調べてみました）ハナシュクシャは、別名、ジンジャーリリーと呼ばれ、花が雪のように白く、とても甘い香りがします。フラダンスやレイに使われる花です。（香りが想像できる人がたくさんおられるのではないでしょうか。）

右の 3 枚の写真は、通用門近くから撮った紅葉の美しい木々です。先週から落ち葉が増えてきました。写真の桜の木も、もうすぐ裸木になる冬が来るのですね。阪急バスの向こうにあるのはイチョウの木。随分と色付いて来ました。この時期のイチョウと言えば、奈良の東大寺の裏奥にある大きなイチョウの木が忘れられません。またいつか行きたいです。

→

花を愛でる。季節を愛でる。

環境づくりは人づくり。　感謝申しあげます。